

[成果情報名]ビワ「なつたより」収穫時の結果枝向きと果実糖度

[要約]ビワ「なつたより」は収穫時の結果枝向きが上向きである場合、下向きである場合に比べ果実糖度が高い。

[キーワード]ビワ、なつたより、収穫時枝向、糖度、酸含量

[担当]長崎県農林技術開発センター・果樹・茶研究部門・ビワ落葉果樹研究室

[連絡先] (代表) 0957-55-8740

[区分]果樹

[分類]指導

[作成年度]2015 年度

[背景・ねらい]

ビワ「なつたより」は、樹勢が強く枝伸長も旺盛で大果であるため、従来のビワ「茂木」に比べ収穫時に側枝単位で枝が下垂または倒伏してしまう。また、収穫後の果実品質を調査した場合、糖度のバラツキがしばしば散見される。そこで、収穫時の結果枝向きと果実糖度の関係について検討を行う。

[成果の内容・特徴]

1. 収穫時の果実の糖度は、結果枝向きが上向きの方がいずれの調査でも下向きの果実に比べ高い（表1、2、3）。
2. 収穫時の果実の酸含量は、結果枝向きが上向きの方がいずれの調査でも下向きの果実に比べ高い（表2、3）。
3. 収穫時の結果枝向きと果実重との間に有意な差は認められない（表1、2、3）。

[成果の活用面・留意点]

1. 調査樹は収穫後に発生する新梢の芽カキを実施する際、果痕枝の場合2新梢を残し、中心枝の場合、副梢を2新梢残す新梢管理とした。
2. 調査樹は場内植栽の6年生「なつたより」および10年生「なつたより」を6樹から10樹を用いて行い、収穫時に結果枝向きを区分し調査果実とした。なお、各処理区の調査果実は30果から40果程度を供試した。
3. 果実品質向上のためには、ビワ園外周の環境整備を整え、樹体に十分な日照が当たるようにすることが重要である。

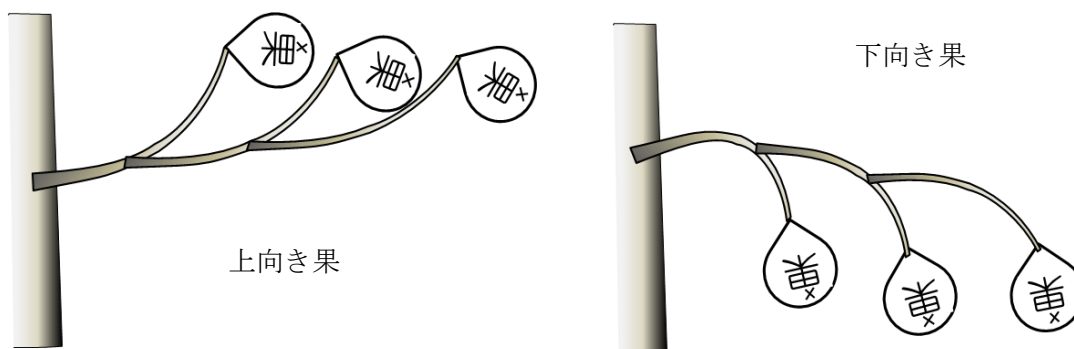


図1 調査果実の着果イメージ

[具体的データ]

表1 ビワ「なつたより」収穫時の結果枝向きと果実品質 (2013)

| 結果枝向き ^y | 果実重 (g) | 糖度 (brix) | 酸含量 (g/100ml) |
|--------------------|------------|--------------|------------------|
| 上向き | 53.3 | 13.1 | 0.22 |
| 下向き | 55.5 | 12.0 | 0.20 |
| 有意差 ^z | 無し | 有り | 無し |

^z t検定により5%レベルで有意差有り

^y 収穫時の結果枝の枝向きが上方か下方かで判別

表2 ビワ「なつたより」収穫時の結果枝向きと果実品質 (2014)

| 結果枝向き ^y | 果実重 (g) | 縦径 (mm) | 横径 (mm) | 糖度 (brix) | 酸含量 (g/100ml) |
|--------------------|---------------------|------------|------------|--------------|------------------|
| 上向き | 59.6 a ^z | 51.1 | 45.6 | 14.3 a | 0.22 a |
| 横向き | 53.4 b | 47.8 | 44.4 | 13.7 ab | 0.19 ab |
| 下向き | 56.8 ab | 49.7 | 44.9 | 13.0 b | 0.19 b |

^z 縦の異なる文字間にはTukey多重検定により5%レベルで有意差有り

^y 収穫時の結果枝の枝向きが上方か下方かで判別

表3 ビワ「なつたより」収穫時の結果枝向きと果実品質 (2015)

| 結果枝向き ^y | 果実重 (g) | 縦径 (mm) | 横径 (mm) | 着色歩合 | 糖度 (brix) | 酸含量 (g/100ml) |
|--------------------|---------------------|------------|------------|--------|--------------|------------------|
| 上向き | 50.8 a ^z | 48.4 | 43.3 | 9.3 a | 13.8 a | 0.23 a |
| 横向き | 51.9 a | 48.6 | 43.0 | 9.0 ab | 13.0 b | 0.21 b |
| 下向き | 52.1 a | 47.6 | 43.3 | 8.9 b | 12.7 b | 0.20 b |

^z 縦の異なる文字間にはTukey多重検定により5%レベルで有意差有り

^y 収穫時の結果枝の枝向きが上方か下方かで判別

[その他]

- 研究課題名 : ビワ新品種「なつたより」若齢樹の安定生産技術の確立
 ビワ「なつたより」の高品質果実安定生産技術と成熟予測システムの開発
- 予算区分 : 県単
- 研究期間 : 2011～2015年度
- 研究担当者 : 松浦正